

News Release

平成 31 年 4 月 1 日
株式会社 長大

フィリピン国における二国間クレジット(JCM)ワークショップで講演 日本国環境省、比国環境天然資源省並びに IGES 共催によるワークショップで講演 フィリピン国における関係省庁、民間事業者を対象に 同国における JCM プロジェクト推進状況を解説 ミンダナオ島で取り組むJCM設備補助制度を活用したプロジェクト実施状況について解説

株式会社長大(東証一部上場、証券コード9624。永治泰司・代表取締役社長。以下「当社」)は、2月19日(火)に、フィリピンのマニラで開催された「フィリピンにおける低炭素技術の普及のための JCM ワークショップ」(Workshop on the Joint Crediting Mechanism (JCM) – How to facilitate dissemination of low carbon technologies in the Philippines through the JCM-)に参加、講演のために登壇いたしました。

本ワークショップは日本国環境省、比国環境天然資源省(以下「DENR」)ならびに公益財団法人地球環境戦略研究機関(以下「IGES」)の共催で開催されました。

二国間クレジット制度(以下「JCM」)は、途上国への温室効果ガス削減技術や製品、システム、インフラ等の普及や対策を通じて実現した温室効果ガス排出削減・吸収への我が国の貢献を定量的に評価すると共に、我が国削減目標の達成に活用するものです。

比国とは、2017年1月12日に合意し、同国は17国目の署名国となります。

今回、フィリピンで開催された本ワークショップは、比国における JCM を通じた低炭素技術のさらなる普及に向け、JCM 設備補助といった資金支援事業や、関連する施策の理解を深めることを目的として実施されました。

ワークショップでは、「COP24の結果とパリ協定」、「JCMの最新動向と設備補助事業」に関する発表が行われ、当社からはJCM設備補助事業を活用し、同国で具体的なプロジェクトを実施している民間企業の代表として東京センチュリー株式会社と共に登壇、講演を行いました。ワークショップには政府関係者、民間事業者など約70名が参加。JCM設備補助を活用した具体的な案件組成や実施方法等について活発な議論が行われました。

これまで、比国では計8件(2018年6月25日現在)のJCM設備補助案件が採択されており、当社は、2017年

よりミンダナオ島タギボ川4MW小水力発電事業を、2018年よりミンダナオ島ブトゥアン市2.5MWもみ殻発電事業およびミンダナオ島タギボ川上水供給施設0.16MWマイクロ水力発電事業の計3件について代表事業者としてプロジェクトを実施中です。

講演は当社事業推進本部事業企画部が行い、はじめに長大グループの紹介および長大グループの成長戦略と再生可能エネルギー事業の取り組みを紹介した後、先述したJCM設備補助を活用した再生可能エネルギー事業について講演しました。講演後は、民間事業者を中心に具体的な案件組成やアプローチ、JCM設備補助の活用等、各種ファシリティの活用やコンサルティング・サービス等について活発な質疑やコメントがあり、改めて同国におけるJCMおよびファシリティ活用への関心の高さを窺う事が出来ました。

当社はこれまで、雇用不足と和平問題が根深く存在するミンダナオ島において、同島北東部カラガ地域の中心都市ブトゥアン市を拠点とし、同市に本拠地を置くエクイパルコ・コンストラクション・カンパニー（ルーベン・ハビエール・CEO。以下「エクイパルコ社」）、およびツインピーク・ハイドロ・リソース・コーポレーション（高野元秀・社長。以下「ツインピーク社」）と共に、様々な事業を通して地域の経済開発に貢献して参りました。また、JCM設備補助案件に先行し着工しましたアング川8MW小水力発電事業については、エクイパルコ社、ツインピーク社と共に当社も出資参画し事業を推進して参りました。当該事業については、昨年に施設を竣工し既に商業運転を開始しております。先述致しました2件の水力発電事業と併せ、運転中、建設中を含め3件の小水力発電と1件のバイオマス発電事業を比国で展開する中で、うち3件についてはJCM設備補助を活用した再生可能エネルギー事業を推進する当社にとりまして、今回、JCM ワークショップでの登壇機会を得られた事は、これまでの比国、特にミンダオ等における地道な活動が評価されたものと考えております。

当社は一貫して日本に関係する主体が可能な限り関与・協働する機会を創出し、日本からのヒト・モノ・カネを取り込んでいくつなぎ役を實踐して参りました。引き続き、日本政府が推し進める質の高いインフラ輸出や低炭素社会の構築にも沿う形で事業の推進を図り、低炭素型経済開発を通して地球温暖化対策や日本国による温室効果ガス(GHG)排出削減量獲得に貢献して参ります。

また当社は、日本の政府系機関や地方自治体、民間企業の参画機会を最大限に増やすべく、日本や日本企業とのつなぎ役としての機能を担いながら、ブトゥアン市周辺エリアをはじめ、ミンダナオ島の経済発展に強く貢献をしていきたいと考えております。

■お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

宗広裕司（むねひろ・ゆうじ） 株式会社長大 事業推進本部 事業企画部長 Eメール：munehiro-y@chodai.co.jp 電話：03-3532-8623	加藤聡（かとう・さとし） 株式会社長大 経営企画本部 財務・法務部長 長大フィリピン・コーポレーション 社長 Eメール：katou-sa@chodai.co.jp 電話：03-3639-3465	大浦雅幸（おおうら・まさゆき） 株式会社長大 事業推進本部 事業企画部課長 長大フィリピン・コーポレーション 副社長 Eメール：oura-m@chodai.co.jp 電話：03-3532-8623
--	---	---

■参考資料:

1. 講演で紹介した JCM プロジェクト

■ ミンダナオ島タギボ川 4MW 小水力発電事業



取水堰建設予定地



水車発電機(イメージ)



制御盤(イメージ)

■ ミンダナオ島タギボ川上水供給施設 0.16MW マイクロ水力発電事業



発電設備設置予定地
既存取水堰



水車発電機(イメージ)



既存 浄水プラント
※全発電電力を自家消費

■ ミンダナオ島ブトゥアン市 2.5MW もみ殻発電事業



燃料(もみ殻/イメージ)



発電所全景 (イメージ)



制御盤(イメージ)

2.当日の写真



会場全体の様子



事業企画部員による講演

3.ブトゥアン市周辺で当社が展開するプロジェクトマップと解説した JCM 設備補助案件 (赤枠)

★ 出資済み/決定
★ コンサル業務提供/予定
(※薄色は検討・協議中)
【2018年11月現在】

エビ養殖の実証試験池

- ・2014年度 JICA案件化調査で日系中小企業が開発・製造する土壌・水質改良資材(ルオール)を適用し、放棄された養殖池の回復

稲作事業

- ・7~8t/haを達成(地域の平均収量約3.7t/ha)
- ・フィルライシに登録済みの短粒米の栽培
- ・日本製高性能の精米機導入

ウナギの養殖事業

- ・100%日系メーカーの飼料による養殖
- ・生産情報公表JAS規格を取得し、食の安全・安心を創出、高付加価値化
- ・日系メーカーの蒲焼き加工ライン導入
- ・日本国内老舗の加工技術移転

アシガ川小水力発電事業

- ・8MW/2018年稼働予定
- ・日系メーカーの水車発電機(2基)を導入
- ・JBICのツーステップローンによる融資を活用
- ・遠隔監視システム導入予定

[JCM] タギボ川小水力発電事業

- ・4MW/2019年度稼働予定
- ・2015年度、JBICの支援を受けてFS調査実施
- ・2017年度、JCM設備補助事業に採択

ワフ川小水力発電事業

- ・10MW(検討中)/2022年度頃稼働予定
- ・2012年度、経済産業省支援でFS調査実施
- ・2014~2016.5 JICAの協力準備調査
- ・気候変動等災害に強いトンネル導水路で安定システム構築

上水供給事業

- ・3万m³/日(将来8万m³/日)
- ・2015年~40年(+25年)
- ・日系メーカーより設備機器導入(浄水プラント・パイプ)
- ・2017年度経産省(増設FS)
- ・[JCM] マイクロ水力設備を導入(2018年度JCM採択)

インフラ基礎調査(OCAJI)及びIDI調査

- ・海外建設協会(OCAJI)調査を経て一次製品のバリューチェーン構築に必要な物流インフラ拡充提案
- ・2017年度 IDIによるアグサン川渡河橋梁調査実施

[JCM] バイオマス発電事業

- ・2015年度、経済産業省支援でプレFS調査、2017年度補助事業調査
- ・穀物の安定供給体制+2.5MW発電+副産物販売のパイロットプラント。カラガ地域内へ展開予定。
- ・2018年度JCM設備補助事業採択

風力発電事業

- ・2016年度、経済産業省支援でプレFS調査、2017年度補助事業調査
- ・150MW予定(SPC設立済)

太陽光発電事業

- ・民間独自調査開始(200MW級予定)

低炭素型工業団地開発事業

- ・141haの低炭素型工業団地(SPC設立済)
- ・PEZA認定済み
- ・2016年度、経済産業省支援で上水供給インフラ導入のFS調査